

大崎

**問** 奥四万十博への取り組みは

**答** 6部会で協議を進めている

来年4月10日から12月25日まで奥四万十博が行われる。5市町全体と津野町の取り組みの現状と、旧村表示案内板や古い看板の撤去等をして迎え入れては、戸田産業建設課長

5市町全体では、企画運営・広報誘客・受け入れおもてなしの3部会で協議中。10月からポスターやのぼり旗でPR、11月から各市町の広報誌に博覧会情報を掲載し意識高揚を図る。津野町では6部会で、体制づくり・体験メニュー・イベントなど協議検討中。池田町長

旧村表示の看板は順次書き直し・撤去中。大きな案内板は本年度予算で整備をしている。地区表示は統一化で検討中、必要性も含め議論して対処していく。

**問** 有料老人ホームの誘致は

**答** 地方は厳しいと判断

大崎 東京などの1都3県では10年後に後期高齢者が175万人増え、地方創生会議は地方移住が解決策と言っている。高知県も受け入れられる余地のある県と言われているが、津野町に有料老人ホームを誘致してはどうか。

池田町長 6月に東京圏の高齢者の地方への移住が提言された。近隣の施設では定員300人に対して約3割が空所になっている。津野町は介護保険計画にもせていないし地方の負担も見えていない。特に介護型の老人ホームは地方には厳しいものがあり、有料老人ホームの誘致は考えていない。

大崎

地元の方と、みどりの広場の活用について話しは進んでいるか。津野町歴史民俗資料館を分館方式でなくここに建ててはどうか。

**問** みどりの広場の活用は

**答** 地元と話し合っている

池田町長

親子がふれあえる公園・ドッグラン・花木の植栽によるミニ公園などアイデアがあった。集客力・管理面、特に費用対効果の面で現在に至っている。歴史民俗資料館については文化財保護審議会等と議論を進めている。



川上教育長

3千点の資料を展示できる資料館が望ましいが、莫大な事業費がかかる上にそれに適した補助事業がない。2館の統合や東の資料館へまとめるなど、県の民俗資料館の専門員や文化財保護審議会委員等の意見を聞き、整備計画を進めていく。